

*Newsletter*

学会会報

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## &lt; 目 次 &gt;

- ・ 理事会報告
  - ( 1 ) 第 1 6 回大会プログラムの原案について
  - ( 2 ) 第 1 5 回大会決算書
  - ( 3 ) 各種委員会報告 ( 学会誌編集委員会、国際交流委員会 )
  - ( 4 ) その他
- ・ 事務局から

## &lt; 理事会 報告 &gt;

[ 2004 年 11 月 13 日 (土) 午後 1 時半 ~ 17 時 (於) 早稲田大学教育学部 ]

今年度第 2 回目の理事会が 11 月 13 日 (土) 早稲田大学教育学部 612 号教室で開催されました。理事 17 名と事務局 1 名が参加し、下記のように議題を審議、決定しました。

## ( 1 ) 第 1 6 回大会プログラムの原案について

次期大会校の東京学芸大学から大会委員会委員長 児島理事と大会事務局長 浅沼会員が参加し、原案の説明があった。日時については、会場校の冷房設備の都合、8 月に他学会 ( 日本教育学会 ) 開催担当、教師の参加しやすい時期、の 3 つの理由とその説明があり、原案通り、平成 17 年 6 月 18 日 (金) 19 日 (土) とした。なお、日程の枠組みは昨年と同じとした。

2005 年 6 月 17 日 (金)	17:00 ~ 19:00	理事会 (夕食を含む)
6 月 18 日 (土)	10:00 ~ 12:00	課題研究 ・
	12:00 ~ 13:00	昼食
	13:00 ~ 15:00	自由研究発表
	15:10 ~ 17:40	公開シンポジウム
	18:00 ~ 20:00	懇親会
6 月 19 日 (日)	9:30 ~ 11:30	自由研究発表
	11:30 ~ 12:30	総会 ・ 昼食
	12:30 ~ 15:00	課題研究 ・

大会の企画案について、審議の結果、原案を一部修正し、以下のような案で準備を進めることとした。最終決定は、次回理事会で行うこととした。

## 1) 課題研究について

課題研究 II の継続研究テーマについては、研究委員会の梅原理事から提案があり、審議の結果、主題を「カリキュラム研究の基礎を問う ( 2 )」とし、副題を「カリキュラム研究における「子ども」の位置」とすること、世話人は梅原理事にお願いし、司会者のもう一人と、提案者は、佐藤理事、豊田理事のほかに実践家を探すこととして一任した。

その他の課題研究は、審議の結果、課題研究 I を経営的な観点だが、学校づくり的な面に重点を置くテーマとして、中留理事と小泉理事を世話人でおねがいすること、課題研究 III は到達目標などの評価の面から比較研究的にテーマを考えることとし、田中(耕)理事、寺西理事に世話人をお願いすることとした。課題研究の各世話人には提案者、司会者を 3 月の理事会までに確定して頂く事とした。なお、課題研究 IV は、少し若い研究者のために研究発表の場を設けることとし、安彦代表理事にテーマ、提案者とも一任された。

## 2) シンポジウムについて

東京学芸大学から「教師のカリキュラムを創る力」というテーマが示されたのでこれを認め、世話人は大会開催校として提案者を、カリキュラム開発・編成と教師の力量面から東京学芸大学の小林先生、カリキュラム経営能力の面から地域の実践家を 1 名、行政側の条件づくりの面から磯田会員の三人とすることとした。司会者は児島理事と安彦理事とし、やはり 3 月の理事会までに確定するようお願いすることとした。

以上の課題研究ならびに公開シンポジウムの提案者とその発表題目については、世話人から次回理事会（3 月）に最終案を提案し、確定することとした。

## (2) 第 15 回大会決算書

寺西理事から、下記のように第 15 回大会の決算報告があった。

収入 (千円)		支出 (千円)	
大会参加費	1,037	印刷代	384
大会運営費 <sup>1</sup> (事務局より)	585	(概要・プログラム・封筒・要旨集等)	
広告掲載料	130	大会事務アルバイト謝金	404
大幸財団	150	(発送業務・前日準備・当日運営等)	
		事務局人件費	367
		通信郵送費	223
		大会会場費	39
		消耗品・用紙文具費	101
		雑費	91
小計	1,902	小計	1,609
懇親会(前納)	120	懇親会費	443
懇親会(当日)	368		
小計	488	小計	443
発表要旨発送経費 <sup>2</sup> (事務局より)	200	大会不参加宛て発表要旨発送業務人件費	17
		同上	171
小計	200	送料	
		小計	188
収入計(+ +)	2,590	支出計(+ +)	2,240

1 学会事務局より、大会運営費として 585 千円(2004 年 3 月)。

2 学会事務局より、発表要旨発送経費として 200 千円(2004 年 9 月)。

収支の黒字 350 千円は、大会準備委員会より学会事務局へ返却(155 千円)ならびに寄付(195 千円)として処理されることが了承された。

さらに、次回大会に向けて寺西理事より、参加者数増にはシンポジウムと課題研究のテーマならびに Web Page による広報効果が大きいこと、自由研究の申込み締切日からプログラム作成までの日程が短いこと、広告費は集めにくなっているなどが引き継ぎ事項として報告された。

### (3) 各種委員会報告

#### 1) 学会誌編集委員会 報告

##### 第14号の編集について

田中(耕)編集委員長から別紙の提案があった。「書評」については、審議の結果、書評ではなく「図書紹介」の欄をつくることでどうかと提案があり、承認された。投稿論文は21編あったが、内3編は規定の枚数を大幅にオーバーした(規定枚数以内の内容が変わるほどのオーバーである)ので審査に回さない事としたこと、A判定でも、審査員による判定が大きく異なる場合があるので、理由を付すこととしたことが報告された。

##### 「奨励賞」の在り方について

学会賞とは別に、何らかの賞を設けるようにとの前回理事会の案を受けて検討した結果、編集委員会賞のようなものを考えたとの原案が出されたが、審議の結果、結論を得るに至らず、現在の奨励賞の規定改正を含めて、継続審議とした。

##### その他

編集委員会経費で、委員の交通費実費に不足が生じたので3万円の追加を承認した。

#### 2) 国際交流委員会 報告

山口委員長から、「海外カリキュラム研究情報」について次のような報告があった。

『カリキュラム研究』第14号に、「海外カリキュラム研究情報 第3回 台湾」を掲載するための作業を進めている。執筆者には、田中統治会員(筑波大学)と林明煌会員(国立嘉義大学)に依頼している。このことについては、10月16日の編集委員会です承を得た。

『カリキュラム研究』第15号に、「海外カリキュラム研究情報 第4回 シンガポール」を掲載するための準備を続けている。執筆者には、Dr. Joy Chew Oon Ai 氏(国立教育学院(National Institute of Education)助教授)と池田充裕氏(山梨県立女子短期大学助教授)にお願いしている。このことについては、7月理事会です承を得ているが、掲載の可否の最終的な判断は第15号に関する編集委員会の席で得ることになる。

今後のことに関しては、理事や会員の意向などを見ながら、委員会で検討する。オーストラリア、タイなどを取り上げるとともに国際的な研究プロジェクトを立ち上げてはどうかなどの意見がでている。

### (4) その他

- 1) 学術会議会員候補者の推薦方の依頼があったので、審議の結果、寺西理事、長尾理事、中野理事、安彦代表理事の4人を推薦することとした。
- 2) 名簿の件について、進捗状況が事務局から報告された。
- 3) 次回理事選挙について、事務局から説明があり、規定に従って選挙管理委員会を近隣の会員3人で組織すること、それを3月の理事会で承認願うこと、その後4月末までに選挙を終了し、6月の総会で決定するという予定を承認した
- 4) 次回理事会を2005年3月5日(土)に開催することとした。

## < 事務局から >

### (1) 会費納入のお願い

本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。本年度学会費未納の方は、宛名ラベルのお名前

の下に、未納年度（年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、法人 10,000 円）を記載しております。同封の振込用紙をご利用になり、できるだけ早く納入し、理事選挙にご参加下さい。

（ 2 ）住所、所属変更の連絡

年度末の異動等により、連絡先住所、所属の変更がある場合には、「学会員名簿」（2月発行）末尾の住所等変更のページをコピーの上、学会事務局宛にできるだけ早く連絡をいただきたくお願い申し上げます。第 16 回大会の日程が例年より早まりました。そのため、大会の開催に関連した連絡（開催校の大会委員会発）、自由研究の発表申し込みなどを速やかに会員へ届けるために是非ともお願いいたします。

（ 3 ）退会手続きについて（平成 16 年 1 月より）

事務局宛にご氏名とご住所、ご所属ならびに退会希望年度を連絡いただければ、自動的に退会となります。ただし、年 1 度発行（6 月）の学会誌の印刷作業開始後（3 月末以降）の退会のお申し出の方には、その年度の年会費は納入していただきます。年会費未納年度について、当該年度の学会誌を事務局宛お送りいただければ、年度内の退会は可能です（送料はご負担願います）。

（ 4 ）学会員名簿 2004 年度版の送付

編集に予想以上の時間がかかってしまいました。近日中にお手元に届きます。

〒169 8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学 教育学部内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL & FAX 03 - 3204 - 9246

or 03 - 5286 - 1561

振替口座番号：00880 0 69090

E mail : jscs@nifty.com

学会 URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>

ミラーサイト：<http://www.edu.waseda.ac.jp/~jscs/index.htm>

日本カリキュラム学会 第 16 回大会 ご案内

- ・会場：東京学芸大学（184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1）
- ・日時：平成 17 年 6 月 18 日（土）、19 日（日）
- ・自由研究発表の申込締め切りは、3 月 31 日
- ・大会プログラムの発送は、5 月 20 日予定
- ・大会事務局への連絡メールアドレス：jcs2005tgu@mail.goo.ne.jp  
お問い合わせはできるだけ、E-mail でお願いいたします。
- ・大会開催校連絡先：〒184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学 総合教育科学系  
日本カリキュラム学会第 16 回大会準備委員会
- ・大会準備委員会事務局電話：浅沼 茂 Tel: 042-329-7351、橋本美保 Tel: 042-329-7352  
山田雅彦 Tel: 042-329-7338